

PAT-NO: JP02002210036A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002210036 A

TITLE: TRAINING UTENSIL HAVING PIGGY BANK,
WHICH INCREASES
FORCE OF ARM

PUBN-DATE: July 30, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SAI, SHOEN

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

SAI SHOEN

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP2001034616

APPL-DATE: January 9, 2001

INT-CL (IPC): A63B021/075, A63B023/12

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a piggy bank on a training utensil so that the force of the arm may be increased.

SOLUTION: A string is tied at the center of a bar, and a weight is tied to the other end of the string. For the weight, the piggy bank, wherein coins can be placed at each training, is provided so that the weight may gradually become heavier.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-210036
(P2002-210036A)

(43)公開日 平成14年7月30日(2002.7.30)

(51)Int.Cl.⁷
A 6 3 B 21/075
23/12

識別記号

F I
A 6 3 B 21/075
23/12

データベース*(参考)

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願2001-34616(P2001-34616)

(22)出願日 平成13年1月9日(2001.1.9)

(71)出願人 501058515

崔 尚范

東京都足立区青井3-14-11の404号

(72)発明者 崔 尚范

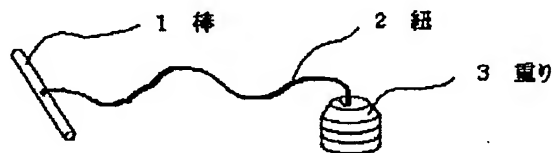
東京都足立区青井3-14-11の404号

(54)【発明の名称】 腕の力を増やす貯金箱付きトレーニング用具

(57)【要約】

【課題】腕の力を増やせるように、トレーニング用具に貯金箱を設ける。

【解決手段】棒の中央に紐を結び付けて、その紐の別の端を重りに結び付ける。重りには、トレーニング毎に硬貨を入れることが出来るようにした貯金箱を設けて、重りの重さが少しずつ増えるようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 紐(2)の片端を棒(1)の中央に結び、もう一つの端は貯金箱を内蔵した重り(3)の上に結んだ、腕の力を増やす貯金箱付きトレーニング用具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、腕の力を増やす(伸ばす)トレーニングをするときに使用する、腕の力を増やす貯金箱付きトレーニング用具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、アレイや引っ張るもの・握るもの・曲げるものなど腕の力を増やすトレーニング用具はいろいろ有るが、それぞれの持ち味は違っている。本発明との違いは、

①本発明品のように、手首を動かして腕の力を集中的に鍛える物はない。

②本発明品のように、トレーニングの難度(要求する力の程度)を徐々に変える(増やす)ことがうまくできない。

③本発明のように、運動以外の刺激がない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

イ、手首を動かす腕の力を集中的に鍛えるためのトレーニング用具がない。

ロ、トレーニングの難度を、ほんの少しずつ加えることができない。

ハ、従来品は、刺激が少なく、一回のトレーニングが時間的・意的に簡単ではないので、特に青少年の場合、トレーニングを長く続けにくい。

ニ、筋肉と意力を鍛えるほかのプラスは、あまり無かった。

【0004】本発明は、従来技術の持つ以上のような問題を解決しようとするものであり、その目的はトレーニング時に腕の力を増やすことが出来るようにするとともに、同時に貯金も出来るようにした貯金箱付きトレーニング用具を提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明の貯金箱付きトレーニング用具は、次のような構成となっている。棒(1)の中央に紐(2)を取付け、その紐(2)の別の端に重り(3)を取付ける。重り(3)には貯金箱(7)が設けてあって、トレーニング毎に100円硬貨、或いは、10円硬貨等を入れることができるようにしてある。

【0006】それによって、重り(3)の重さが4.8g若しくは4.5gずつ増えることになる。つまり、小学校高学年の場合、重りのスタート重さ1kgの、20分の1か、22分の1ずつ増えるのである。本発明

は、以上の構成よりなる腕の力を増やす貯金箱付きトレーニング用具である。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を説明する。

イ、長さ40cm前後で、半径1.5cm前後の丸い棒(1)の中央に、長さ150cm前後の柔らかい紐(2)の片端を結び付ける。

ロ、その紐(2)の別の端を重り(3)の上部に結び付ける。

ハ、紐(2)の長さは、使用者の身長に合わせて、両端を結んだまま調節できるように、重り(3)の上部結び目のところに回して紐(2)を巻くような機能を設ける。

ニ、重り(3)には、トレーニングする人の興味・意欲を引き出すためと、重り(3)の重さを、ほんの少しずつ、徐々に増やす目的でコイン入れの貯金箱を設ける。ホ、重り(3)は、使用者が重さを自分に合う重さに自由に選択・調節することが出来るように設ける。つまり、重り(3)の本体に付属の鉄の重り(500g/枚)を付けたり、取り外したりすることが出来るように設ける。本発明は、以上の構成よりなっている。

【0008】スタート重さを選んで設定することが出来るし、何か月かトレーニングをして貯金の重さが500gを超えると、貯金箱を空にするとともに、スタート重さを500g増やすことができる。そのような繰り返して、どんどんランクを高めていくことができる。

【0009】本発明品を利用してトレーニングすることは極めて簡単である。自然な状態で立ち、両腕を前に水平になるまであげる。この姿勢で棒(1)を回して重り(3)を巻き上げる。〔棒(1)を回すと、紐(2)が棒(1)に巻かれるので、重り(3)も引っ張られて上がるわけである〕。巻き上げ終わったら今度は棒(1)を逆に回して重り(3)を降ろす。以上でトレーニングは終わりであるが小学校4年生の男子の場合、重り(3)の重さが1kgで、30秒ぐらい時間掛かる。

【0010】

【発明の効果】本発明は、以上述べたような構成となっているので、次に述べるような効果を奏する。この発明品を使用することによって、腕の力が徐々に増える。生活や仕事などに役立つことは言うまでもないが、腕相撲などの場合驚くほどの強さを発揮するようになる。

【0011】毎回コインを一枚ずつ貯金することで、難度の変化を感じられないぐらいずつ重りの重さを増やすことができるので、より良いトレーニング効果を得る。言わば、力とお金の二重貯金が出る。

【0012】青少年に「変わったお小遣いのあげ方」をすることで、青少年の意欲を養い、お金を大切にすることにも繋がる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体を示した斜視図。

【図2】本発明の各部分品を示した分解斜視図。

【図3】本発明の使用状態を示す斜視図。

【符号の説明】

1……棒

2……紐

3……重り

4……結び目

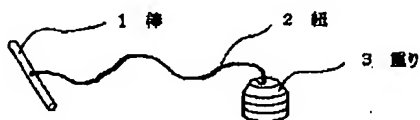
5……結び目

6……コイン投入口

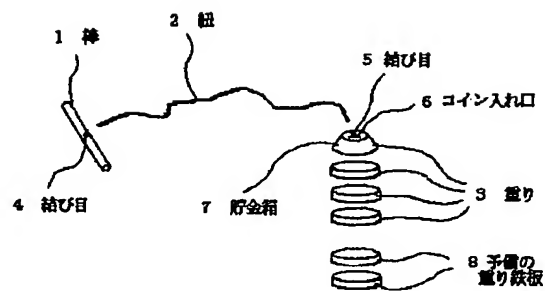
7……貯金箱

8……予備の重り鉄板

【図1】



【図2】



【図3】

